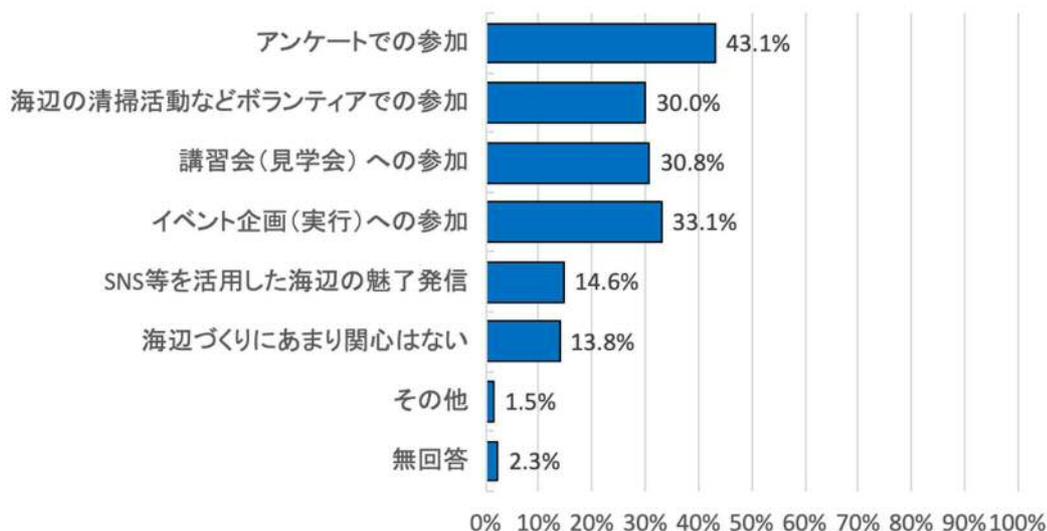


(海辺づくりの参加意欲)

問 22 どのような形で海辺づくりに参加したいと思いますか。(複数回答可)

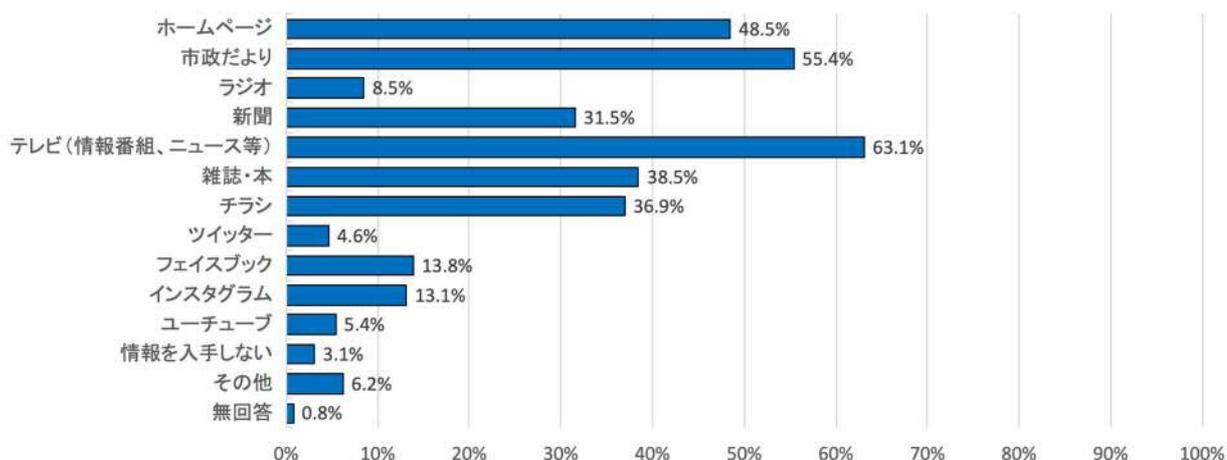


区分	回答者数	アンケートでの参加	海辺の清掃活動などボランティアでの参加	講習会(見学会)への参加	イベント企画(実行)への参加	SNS等を活用した海辺の魅了発信	海辺づくりにあまり関心はない	その他	無回答	
全体	130	43.1%	30.0%	30.8%	33.1%	14.6%	13.8%	1.5%	2.3%	
性別	男性	57	40.4%	38.6%	36.8%	35.1%	17.5%	7.0%	3.5%	1.8%
	女性	73	45.2%	23.3%	26.0%	31.5%	12.3%	19.2%	0.0%	2.7%
年齢別	20歳代以下	14	35.7%	21.4%	7.1%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
	30歳代	15	60.0%	26.7%	13.3%	33.3%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	25	44.0%	32.0%	32.0%	40.0%	36.0%	12.0%	4.0%	0.0%
	50歳代	17	35.3%	29.4%	41.2%	23.5%	11.8%	17.6%	0.0%	5.9%
	60歳代	33	42.4%	30.3%	39.4%	36.4%	6.1%	12.1%	3.0%	3.0%
	70歳以上	26	42.3%	34.6%	34.6%	30.8%	3.8%	11.5%	0.0%	3.8%
区別	門司区	13	53.8%	15.4%	23.1%	46.2%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%
	小倉北区	23	43.5%	26.1%	26.1%	43.5%	13.0%	8.7%	0.0%	0.0%
	小倉南区	31	41.9%	29.0%	19.4%	29.0%	16.1%	22.6%	0.0%	0.0%
	若松区	8	37.5%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%	12.5%
	八幡東区	10	10.0%	30.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%
	八幡西区	35	42.9%	40.0%	51.4%	37.1%	20.0%	5.7%	5.7%	0.0%
	戸畑区	10	70.0%	30.0%	40.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%

どのような形で海辺づくりに参加したいと思うかについて、全体では、「アンケートでの参加」(43.1%)、「イベント企画(実行)への参加」(33.1%)、「講習会(見学会)への参加」(30.8%)、「海辺の清掃活動などボランティアでの参加」(30.0%)、「SNS等を活用した海辺の魅了発信」(14.6%)の順で高かった。最も高かった「アンケートでの参加」について、年齢別では、30歳代(60.0%)で最も高く、50歳代(35.3%)で最も低かった。区別では、戸畑区(70.0%)で最も高く、八幡東区(10.0%)で最も低かった。

(おでかけの情報収集方法)

問 23 海辺に限らず、おでかけ(旅行、買い物、食事など)をするときどのような手段で情報を入手しますか。(複数回答可)



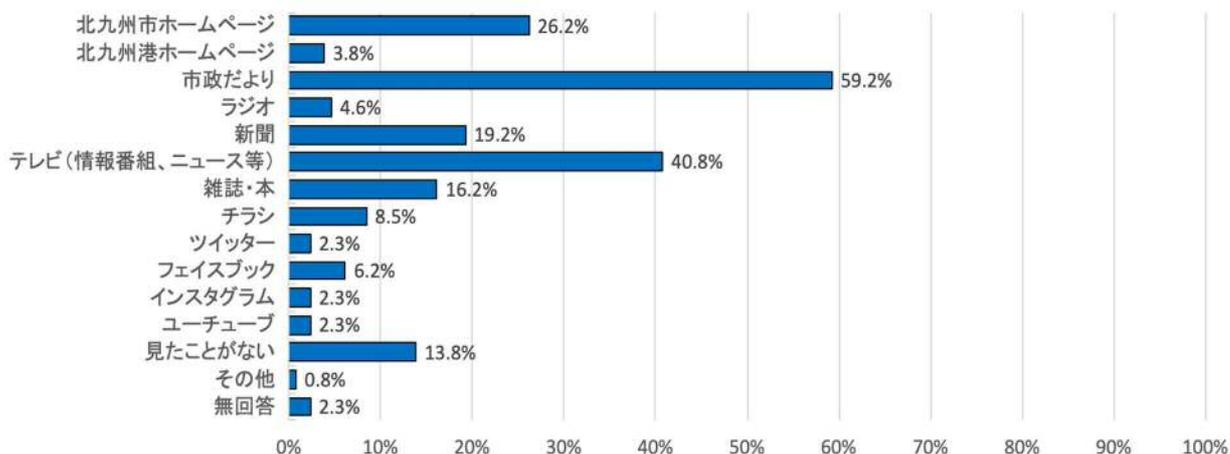
区分	回答者数	ホームページ	市政だより	ラジオ	新聞	テレビ(情報番組、ニュース等)	雑誌・本	チラシ	ツイッター	フェイスブック	インスタグラム	ユーチューブ	情報を入手しない	その他	無回答
全体	130	48.5%	55.4%	8.5%	31.5%	63.1%	38.5%	36.9%	4.6%	13.8%	13.1%	5.4%	3.1%	6.2%	0.8%
性別	男性	57	49.1%	54.4%	8.8%	31.6%	66.7%	33.3%	3.5%	10.5%	3.5%	3.5%	3.5%	5.3%	1.8%
	女性	73	47.9%	56.2%	8.2%	31.5%	60.3%	38.4%	5.5%	16.4%	20.5%	6.8%	2.7%	6.8%	0.0%
年齢別	20歳代以下	14	42.9%	14.3%	7.1%	0.0%	50.0%	21.4%	42.9%	14.3%	14.3%	35.7%	7.1%	7.1%	0.0%
	30歳代	15	66.7%	53.3%	6.7%	26.7%	53.3%	40.0%	40.0%	13.3%	40.0%	33.3%	6.7%	6.7%	13.3%
	40歳代	25	56.0%	60.0%	16.0%	4.0%	48.0%	52.0%	36.0%	8.0%	28.0%	24.0%	8.0%	0.0%	4.0%
	50歳代	17	58.8%	52.9%	11.8%	35.3%	58.8%	35.3%	47.1%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%	0.0%	5.9%
	60歳代	33	51.5%	57.6%	6.1%	54.5%	84.8%	48.5%	39.4%	0.0%	3.0%	3.0%	6.1%	3.0%	0.0%
70歳以上	26	23.1%	73.1%	3.8%	46.2%	65.4%	23.1%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	11.5%	
区別	門司区	13	53.8%	69.2%	15.4%	46.2%	61.5%	53.8%	53.8%	7.7%	15.4%	23.1%	7.7%	7.7%	15.4%
	小倉北区	23	47.8%	47.8%	4.3%	39.1%	56.5%	30.4%	43.5%	4.3%	13.0%	21.7%	13.0%	0.0%	4.3%
	小倉南区	31	54.8%	45.2%	3.2%	22.6%	71.0%	32.3%	38.7%	3.2%	12.9%	6.5%	3.2%	0.0%	9.7%
	若松区	8	0.0%	37.5%	25.0%	25.0%	62.5%	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	10	40.0%	40.0%	20.0%	30.0%	50.0%	50.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	八幡西区	35	57.1%	71.4%	8.6%	34.3%	60.0%	40.0%	40.0%	0.0%	17.1%	8.6%	5.7%	2.9%	5.7%
戸畑区	10	40.0%	60.0%	0.0%	20.0%	80.0%	50.0%	30.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	

その他の記述(抜粋) / 口コミやブログや特集サイトで。

海辺に限らず、お出かけ(旅行、買い物、食事など)をするときどのような手段で情報を入手するかについて、全体では、「テレビ(情報番組、ニュース等)」(63.1%)、「市政だより」(55.4%)、「ホームページ」(48.5%)、「雑誌・本」(38.5%)、「チラシ」(36.9%)の順で高かった。

(海辺に関する情報入手)

問 24 北九州市の海辺に関する情報を何かで見たことがありますか。(複数回答可)

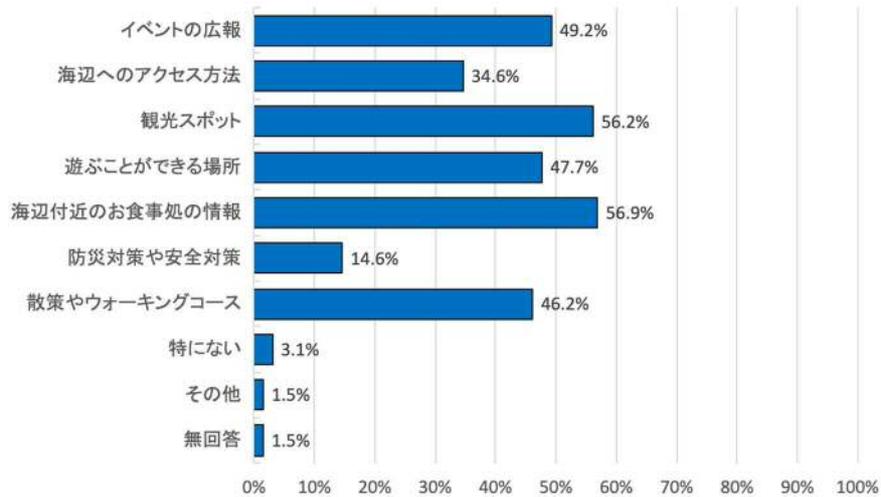


区分	回答者数	北九州市ホームページ	北九州港ホームページ	市政だより	ラジオ	新聞	テレビ(情報番組、ニュース等)	雑誌・本	チラシ	ツイッター	フェイスブック	インスタグラム	ユーチューブ	見たことがない	その他	無回答
全体	130	26.2%	3.8%	59.2%	4.6%	19.2%	40.8%	16.2%	8.5%	2.3%	6.2%	2.3%	2.3%	13.8%	0.8%	2.3%
性別																
男性	57	31.6%	8.8%	57.9%	5.3%	19.3%	40.4%	17.5%	8.8%	0.0%	3.5%	0.0%	3.5%	10.5%	1.8%	3.5%
女性	73	21.9%	0.0%	60.3%	4.1%	19.2%	41.1%	15.1%	8.2%	4.1%	8.2%	4.1%	1.4%	16.4%	0.0%	1.4%
年齢別																
20歳代以下	14	7.1%	0.0%	21.4%	0.0%	7.1%	35.7%	7.1%	0.0%	0.0%	14.3%	7.1%	7.1%	28.6%	0.0%	0.0%
30歳代	15	33.3%	0.0%	53.3%	0.0%	6.7%	33.3%	13.3%	13.3%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%
40歳代	25	24.0%	4.0%	56.0%	12.0%	4.0%	28.0%	28.0%	8.0%	8.0%	16.0%	8.0%	0.0%	12.0%	0.0%	8.0%
50歳代	17	23.5%	5.9%	58.8%	0.0%	5.9%	29.4%	23.5%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	17.6%	0.0%	0.0%
60歳代	33	36.4%	6.1%	63.6%	3.0%	39.4%	60.6%	15.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	9.1%	0.0%	3.0%
70歳以上	26	23.1%	3.8%	80.8%	7.7%	30.8%	42.3%	7.7%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.5%	3.8%	0.0%
区別																
門司区	13	23.1%	7.7%	53.8%	7.7%	30.8%	46.2%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%
小倉北区	23	30.4%	4.3%	56.5%	8.7%	17.4%	21.7%	8.7%	17.4%	4.3%	13.0%	8.7%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%
小倉南区	31	22.6%	3.2%	54.8%	0.0%	16.1%	58.1%	19.4%	0.0%	3.2%	6.5%	3.2%	3.2%	22.6%	0.0%	0.0%
若松区	8	37.5%	0.0%	75.0%	12.5%	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
八幡東区	10	30.0%	0.0%	40.0%	0.0%	10.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%
八幡西区	35	25.7%	5.7%	62.9%	5.7%	25.7%	34.3%	20.0%	14.3%	0.0%	2.9%	0.0%	2.9%	8.6%	0.0%	5.7%
戸畑区	10	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	10.0%	40.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%

北九州市の海辺に関する情報を何かで見たことがあるかについて、全体では、「市政だより」(59.2%)、「テレビ(情報番組、ニュース等)」(40.8%)、「北九州市ホームページ」(26.2%)、「新聞」(19.2%)、「雑誌・本」(16.2%)の順で高かった。年齢別では、20歳代以下を除く年代で「市政だより」が最も高かった。区別では、小倉南区を除く区で「市政だより」が最も高かった。

(市民が知りたい情報)

問 25 どのような情報の発信に力をいれてほしいと思いますか。(複数回答可)



区分		回答者数	イベントの広報	海辺へのアクセス方法	観光スポット	遊ぶことができる場所	海辺付近のお食事処の情報	防災対策や安全対策	コース	散策やウォーキング	特にない	その他	無回答
全体		130	49.2%	34.6%	56.2%	47.7%	56.9%	14.6%	46.2%	3.1%	1.5%	1.5%	
性別	男性	57	56.1%	40.4%	47.4%	45.6%	56.1%	12.3%	52.6%	3.5%	3.5%	1.8%	
	女性	73	43.8%	30.1%	63.0%	49.3%	57.5%	16.4%	41.1%	2.7%	0.0%	1.4%	
年齢別	20歳代以下	14	50.0%	35.7%	50.0%	64.3%	50.0%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
	30歳代	15	66.7%	26.7%	53.3%	80.0%	60.0%	6.7%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%	
	40歳代	25	48.0%	20.0%	60.0%	52.0%	52.0%	20.0%	52.0%	0.0%	0.0%	4.0%	
	50歳代	17	52.9%	52.9%	58.8%	47.1%	70.6%	17.6%	58.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
	60歳代	33	51.5%	30.3%	60.6%	39.4%	57.6%	9.1%	60.6%	6.1%	0.0%	3.0%	
	70歳以上	26	34.6%	46.2%	50.0%	26.9%	53.8%	19.2%	50.0%	3.8%	7.7%	0.0%	
区別	門司区	13	38.5%	30.8%	53.8%	69.2%	53.8%	30.8%	46.2%	7.7%	7.7%	0.0%	
	小倉北区	23	56.5%	43.5%	56.5%	43.5%	60.9%	8.7%	43.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
	小倉南区	31	41.9%	45.2%	64.5%	64.5%	64.5%	9.7%	41.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
	若松区	8	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	
	八幡東区	10	30.0%	20.0%	50.0%	40.0%	70.0%	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	
	八幡西区	35	60.0%	25.7%	71.4%	37.1%	54.3%	11.4%	60.0%	0.0%	0.0%	2.9%	
	戸畑区	10	50.0%	40.0%	10.0%	40.0%	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%	10.0%	0.0%	

どのような情報の発信に力をいれてほしいかについて、全体では、「海辺付近のお食事処情報」(56.9%)、「観光スポット」(56.2%)、「イベントの広報」(49.2%)、「遊ぶことができる場所」(47.7%)、「散策やウォーキングコース」(46.2%)、「海辺へのアクセス方法」(34.6%)、「防災対策や安全対策」(14.6%)の順に高かった。

## (今後必要な施策)

**問 26** 北九州市の海辺づくりにおいて、新たに組み込んでほしいことがあればご記入ください。

### 【海岸の環境整備】

- ・ 10年、20年前とくらべ随分と整備されてきているが、ポイ捨てが多くガッカリする。自分が出したゴミは持ち帰るようにして、ゴミ箱の設置はしない。
- ・ 清掃やガイド、パトロールなどについては専門の機関に任せ、事業化する。
- ・ 一度、整備したとしても、その後の継続した手入れが必要である。
- ・ 自然体系の保持を優先し、余計な破壊という開発はしない。
- ・ 小学生を対象にした海辺の環境をテーマにした学習会を開く。
- ・ 海洋法規違反への厳罰化をはかるため、条例など市独自の取り組みが必要である。
- ・ プラスチックのような有害物質を使わない環境に無害な物質の開発をすすめる。

### 【海辺の資源を活用したにぎわいづくり】

- ・ 下関には唐戸市場があるが、同様に海の幸に恵まれる北九州にそのような場所がない。
- ・ 綺麗な海を眺めながら新鮮な魚介を提供するレストランや夕陽が見られるカフェをつくり、国内外の観光客を大型バスで取り込む一大ゾーンを開発する。
- ・ 水族館をつくり、海釣り公園を増やす。
- ・ 年間を通して、親子を含めた魚釣り大会をアクセスが容易な海辺で催す。
- ・ 若松北海岸と芦屋町・岡垣町などとのタイアップで海辺の魅力づくりを推進する。

### 【海辺への交通利便性の向上】

- ・ 駐車場料金が日曜日・祭日に特に高い。短時間利用の無料駐車場が少ない。交通アクセスが良くない海辺が多いので、車以外の交通手段を整える。
- ・ 夏祭りの花火などのイベントで、周辺の混雑や大渋滞に際して適切な情報提供と誘導をおこなう。
- ・ 詳細なアクセスガイドが掲載された、地域密着のマップを提供する。
- ・ 道路標識が分かりづらいところが多くある。

### 【海辺の情報発信の充実】

- ・ せっかくの良い地域資源について、お知らせを充実する。
- ・ 北九州をPRするテレビニュースを増やす。
- ・ なぜ危険か分かりやすい危険表示の看板をつくる。

### 【水際線の活用や利便性向上による賑わいの創出】

- ・ 多くの年代の人たちが遊べ、充実した休憩所やトイレ施設が整った海辺にする。
- ・ 小倉駅～門司～和布刈までの海岸散歩道を整備する。
- ・ 15000名収容のミニワールドスタジアム周辺で海沿いの未利用地を、観光客や市民が訪れる賑やかな場所にする。
- ・ 海岸線の駐車スペースを確保した道路を整備する。
- ・ 海岸まで降りるとき階段しかないところが多いので、老人や足の悪い人のためのスロープをつくる。
- ・ 昔の懐かしい景色を残しつつ、より利用しやすい環境を整える。

## 自由意見

**問 27** 最後に、北九州市の海辺づくりについて、ご意見等ございましたらご記入ください。

### 〈回答内容の抜粋〉

#### 【場の提供】

- ・ 門司港レトロから門司赤煉瓦付近までの海岸沿いの自転車道が出来れば散策や観光の幅がひろがる。車での移動に頼らない海辺への交通手段が求められている。
- ・ 屋根のあるベンチやカフェテラスがあれば、高齢者の利用も増えると思える。
- ・ イベント会場への無料バスや海岸線を回る市内バス路線の整備で海辺が賑わう。
- ・ 若松南海岸通などよくできたプロムナードだが、ウォーキングなど出来るようにもっと長い距離に延長すればよい。

#### 【機会の提供】

- ・ 海辺から遠くに住まう高齢者は、自宅付近の山や道の駅等に出かけ、海辺への興味がなかった。遊べる場所より新鮮な野菜や魚介が手に入る場所に興味がある。
- ・ 大型クルーズ船の入港をもっと町に近い岸壁にし、シャトルバスなどを利用し、出港までの限られた時間を市内での経済活動に繋がるようにする。
- ・ 藍島・馬島などのテレビ情報はあがるが、「どのようにして行くのか」についても詳しい情報があるとよい。

#### 【情報の提供】

- ・ 魅力的なところは数多くあるが、あまり知られていない。それぞれの見どころや遊び方について「市政だより」に特集を載せて多くの市民に知ってもらおう。
- ・ 今回のアンケートまで、全く北九州市の海辺に対するプランや取り組みについて知らなかった。周囲の人にたずねてもほとんどの人が知らなかった。

#### 【環境を守る】

- ・ 戦後の北九州の海辺を知る者にはよくここまで海を回復させてくれたと感動した。
- ・ 訪れた人が自由に清掃活動ができるようなシステムがあればよい。訪れた海岸がゴミだらけで、拾っていたら手持ちのビニールがすぐに満杯になった。
- ・ 川のゴミを無くさない限り海は綺麗にならない。ゴミが海に流入する河川やその付近の散乱したゴミが大雨や強風の度に流れ出て海を汚している。川沿いのゴミ集積場にはゴミが散乱している。まずは志井川、紫川中流を一度調査するとわかる。

#### 【その他】

- ・ ゴミ拾いでポイントがつき何かのサービス（駐車場1時間無料など）が受けられる。
- ・ 北九州市の観光力投資対効果の自己評価実施、観光から長期的な利益獲得のためのアプローチをする。
- ・ もっと花壇を増やす。

## IV 全体考察

### ■ アンケート実施について

北九州市は、三方を響灘、関門海峡、周防灘に囲まれ、内陸には洞海湾があり、全国有数の約226kmという長い海岸線を有している。この恵まれた特徴を生かして、海辺が多くの人に利用され、親しまれるよう、魅力ある海辺づくりの方針となる「新・海辺のマスタープラン」（目標年次：2020年）を平成23年5月に策定し、5年を経過した平成28年には、中間見直しを実施した。

今回、目標年次である2020年（令和2年）に近づいたことから、これまでの取り組みへの評価や、今後の方向性の検討を行う上での参考とするため、北九州市の海辺に対する意識調査を実施したものである。

### ■ 海辺に対する市民の意識

#### ◆ この1年間で訪れた海辺

まず、市民の海辺の利用状況を把握するために、この1年間で訪れた海辺についてたずねたところ、回答者の9割以上が市内の海辺を訪れていた。

観光地である「門司港・和布刈」が約6割と最も多かった。「北九州空港」、「小倉都心」、「若戸大橋周辺」の3つのゾーンでは約5割が訪れていた。

#### ◆ 海辺や港についての満足度

海辺や港についての満足度をたずねたところ、「満足」が約5割、「どちらともいえない」が約4割、「不満足」が約1割であった。

#### ◆ 方針1 場の提供

「方針1 場の提供」（気軽に行ける場所）については、肯定的意見が約6割となった。

施策別では、肯定的意見が「水際線整備の推進」で約6割、「交通利便性の確保」では約5割だが、「市民参加による海辺づくり」は約4割と半数に満たない結果となった。

#### ◆ 方針2 機会の提供

「方針2 機会の提供」（海辺へ出かける頻度）については、肯定的意見が約5割であった。施策別では、肯定的意見が「海辺を訪れ遊ぶきっかけづくり」で約6割、「海や港を学ぶきっかけづくり」、「海辺の資源を活用したにぎわいづくり」で約5割となった。

#### ◆ 方針3 情報の提供

「方針3 情報の提供」（海辺に関する情報）については、約6割が否定的意見であった。施策別では、否定的意見が「海辺の魅力の情報発信」、「安全な利用のための情報提供」で半数を越えた。市民活動への参加経験がある人は約1割であった。

#### ◆ 方針4 環境を守る

「方針4 環境を守る」（環境との共生）については、肯定的意見が約7割であった。施策別では、肯定的意見が「環境に配慮した海辺の整備」、「海辺の環境学習の推進」で約6割であったが、「海岸環境の維持・保全」では約4割となっている。

## ■今後の方向性への意見（問19～問26）

### ◆ 海辺の印象の変化

北九州市の海辺の印象の変化について、肯定的意見が約5割であった。年齢別では、20歳代以下、60歳代で肯定的意見が半数を超えた。区別では、八幡東区、戸畑区で肯定的意見が半数を超える結果となった。

### ◆ 整備された水際線の活用

整備された水際線に今後もとめられるものについて、「海辺の魅力情報発信」、「海辺のイベントの充実」が半数を超えている。

### ◆ 市民が求める海辺の賑わい

参加したいと思う海辺のイベントについて、「大型船舶（フェリーなど）でのクルージング」、「小型船舶（渡船など）でのクルージング」、「花火」、「海岸沿いの工場群の景観鑑賞」へ参加したいとの意見が多い。

### ◆ 海辺づくりの参加意欲

参加したいと思う海辺づくりの手段について、「アンケートでの参加」、「イベント企画（実行）への参加」、「講習会（見学会）への参加」が多く、「SNS等を活用した海辺の魅力発信」が最も少なかった。

### ◆ おでかけの情報収集方法

海辺に限らず、おでかけ（旅行、買い物、食事など）をするときの情報入手方法について、「テレビ（情報番組、ニュース等）」、「市政だより」、「ホームページ」が多く、「ツイッター」が最も少なかった。

### ◆ 海辺に関する情報入手について

北九州市の海辺に関する情報の入手状況について、多い順に「市政だより」、「テレビ（情報番組、ニュース等）」、「北九州市ホームページ」であった。

### ◆ 市民が知りたい情報

力を入れてほしいとおもう情報発信について、「海辺付近のお食事処の情報」、「観光スポット」、「イベントの広報」、「遊ぶことができる場所」など、行楽と結びついた情報への関心が高く、「防災対策や安全対策」への関心が低いことが伺える。

### ◆ 今後必要な施策

- ・ 海洋プラスチックへの対策や出したゴミは持ち帰る等の「海岸の環境整備」
- ・ 景色と新鮮な魚介などの資源を結んだ場所やイベント、同じ海岸線をもつ隣接地域とのタイアップ等の「海辺の資源を活用した賑わいづくり」
- ・ 海岸への車以外での交通アクセスの改善、駐車場の確保、大型イベントでの交通誘導等の「海辺への交通利便性の向上」
- ・ 海辺の魅力の情報発信の充実、テレビでのPR、分かりやすい危険表示看板等の「海辺の情報発信の充実」
- ・ 休憩所やトイレ施設の設置、スロープ等のバリアフリー化、海沿いの未利用地の賑わいへの活用等、「水際線の活用や利便性向上による賑わいの創出」などへの意見があった。

## 【まとめ】

海辺に対する市民の意識について、来訪者や交通利用者の多い「門司港・和布刈」、「北九州空港」、「小倉都心」、「若戸大橋周辺」は多くの市民が訪れ、また今後も訪れたいとの結果となった。

方針別では、「場の提供」について、これまで行ってきた「水際線整備の促進」、「交通利便性の確保」において、肯定的意見が多かった。

一方で、「市民参加による海辺づくり」は肯定的意見が半数に満たない結果となり、今後とも引き続き、市民団体の発展や活動の継続への支援が必要であると考えられる。

「機会の提供」について、これまでの海辺のイベントや海洋レクリエーションの振興等の取り組みにより、全体的に、肯定的意見が多い結果となったと考えられる。

「情報の提供」について、全項目で否定的意見が半数を超える結果となり、「海辺の魅力の情報発信」、「安全な利用のための情報提供」等、広報やPR方法に課題が残る結果となった。

「環境を守る」（環境との共生）について、肯定的意見が7割であったが、施策別では、「海岸環境の維持・保全」が約4割と低く、昨今の海洋プラスチック問題等への市民の関心の高さが伺える。

今後の方向性への意見について、以前（10～20年程度）に比べると海辺を身近に感じるとの肯定的意見が約5割となった。

水際線の活用にあたっては、「海辺の魅力情報発信」、「海辺のイベント充実」が必要との意見が多く、また、イベントについては、クルージングに参加したいとの意見が多かった。

海辺に関する情報の入手方法について「ホームページ」、「テレビ（情報番組・ニュース等）」、「市政だより」を使っている人が多かったが、「ツイッター」、「インスタグラム」、「ユーチューブ」等のSNSを使って情報入手をする人は少なかった。また、知りたい情報として、グルメや観光、イベント等の情報への関心が高かった。

自由意見でも、「海辺の情報発信の充実」や「水際線の活用や利便性向上による賑わいの創出」等への有益な意見を多数頂いた。

アンケートで得た結果については、『新・海辺のマスタープラン』のこれまでの取り組みへの評価や今後の方向性の検討の参考にとしたい。